

2014年度第3回 人権啓発研修会

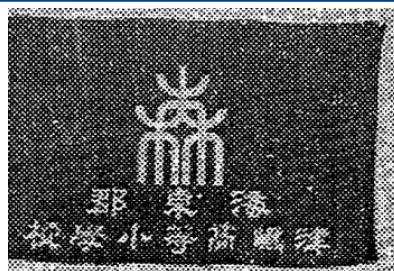


ひらかれ むすばれてゆく

子どもたち



一人権教育を柱としたESD学習



津島市人権教育研究会
津島市立南小学校

南小学校 ESDのシンボル 五つの木

南小 (津島市常盤町)

高さ二十何ほどの大木一本が
本が
出迎えてくれる。津島市南小学校の東門。「戦前からあるクスノキです」。浅井厚視校長(左)が指さして説明した。

同市今市場町の延命寺にあった擇善学校と、同市北町の雲居寺にあった春朗学校が前身。いずれも寺子屋の流れをみ、一八七二(明治五)年に開校した。市内で最も古い小学校だ。現在の常盤町に移ったのは戦前の一九三八(昭和十三年)。その移転時から東門のクスノキ一本はあり、子どもたちが一緒に成長してきた。

1961年(本門近への)

学校のシンボル 見つけよう

尾張版



藤観音
伊奈 三知夫
光陵会所所属

5本の木「気」の付く命名

本を加えた三本が十四年前、それぞれ「元気の木」「木の心」と名付けられた。人間

元気、やる気…心に育て



クスノキを見つめる児童たち。いずれも津島市南小で

教育を進める狙いで、当時の校長と教頭が名付け親だ。十年前には、正門近くの中庭の別の二本が「勇気の木」「本気の本」と命名された。

「木」と「気」をかけた名前は、歴代校長が毎年度のスタートを切る始式で、浅井校長は「人間の根本を育てるキッズ・フリースを自然と覚えられる」と効果を語り、「元気をだすために」「五つの気を出して頑張ろう」と思ってもらえれば」と話した。

「木」と「気」をかけた名前は、歴代校長が毎年度のスタートを切る始式で、浅井校長は「人間の根本を育てるキッズ・フリースを自然と覚えられる」と効果を語り、「元気をだすために」「五つの気を出して頑張ろう」と思ってもらえれば」と話した。

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunchi.co.jp

一宮 総局 千491-0851
一宮市大江 1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035

津島通信部
0567-28-2157 Fax28-2158

稲沢通信部
0587-32-8800 Fax23-8035

江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622

蟹江通信部
0567-95-3022 Fax95-3000

春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797

犬山通信部
0568-61-2612 Fax61-2613

小牧通信部
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunchi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

小宮日記

一宮市北方小6
高木 香花さん



わたしの夢は、おじいちゃんのお花屋さんです。おじいちゃん最近かわいかった猫が死んでしまいました。元気がありません。わたしやお客さんにはもりして笑って

それらの木は児童たちにとって思い出ともある。いずれも六年の中村律貴君(左)は「二年ぐらの時は、勇気の本で、だるまさんが転んだ」をしたり、周りに鬼(つ)をしたりして遊んだ。大沢真宙君(右)も「授業木の絵を描いた覚えが」と語る。

「これか」と一宮市北方小6の高木香花さん(左)が、一つ一つの気を出して頑張ろう」と児童たち



ESD学習とは

- 学校・地域にある『宝』を教材化する
- 今、あるものを見つめ直し、未来に残し、伝える心を育てる教材を発掘。
- 「人」とのかかわりを通して、地域のすぐれた文化(財)を学び、差別や偏見を憎み、世代をこえて伝える歴史文化を愛すること

【1】ESDとは何か

ESD=Education for Sustainable Development
『教育』 『持続可能な』 『発展・開発』



ESD = 持続可能な開発のための教育とは
現在の私たちの幸せ 未来の子どもたちも幸せ
世代内・世代間の公平性を
『五つの木（気）』 = 南小ESDのシンボル
『今、あるものを見つめ直す目を
未来の子どもたちに残し、伝える心を』



- 『差別』や『偏見』を見つめ、社会を変えていく目・意識・態度を育てる(人権尊重・人権感覚を磨く)
- ◆子ども一人ひとりのちがいを認め、個性を伸ばす
…(自己肯定感)を大切にする学級・授業づくり
- ◆すべての教師ですべての子どもたちを指導する
- ◆自らの力量・資質向上に努める 教師集団づくり

校長のねがい

- 『子どもたちが毎日通いたくなる』
- 『保護者が毎日通わせたいくなる』
- 『教職員が毎日勤めたいくなる』
- 『地域の人にとって私たちのまちの学校』づくりを。

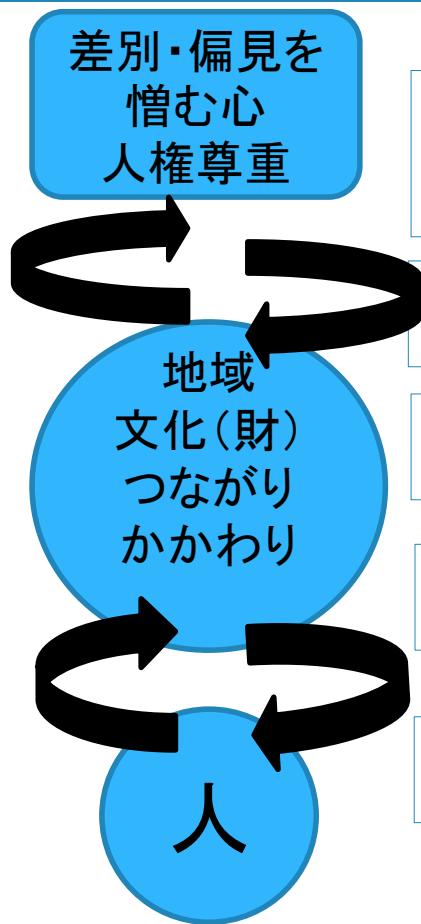
2014 津島南小のESD学習【1】の取組

【2】子どもたちの基本的な生活習慣の確立

①SST ソーシャルスキル
トレーニングの授業全校

【3】人権総合的学習

人権教育を柱としたESD



②あったかいね、おじいちゃんおばあ
ちゃんの手 3年

ボランティア、手をつなぎ隊 4年

飛び出せ、ぼくらは地球人 5年

③再発見、ふるさと津島そして自分 6年

④ふるさと検定『津島の達人』 6年

⑤ふれあい運動会 全校

【4】地域・家庭との 相互連携

学校ホームページ・校長室たより『南風』

【3】人権総合的学習①—3年「あったかいね、おじいちゃんおばあちゃんの手」—

○10月7日 《お話を聞く会》

9時30～11時

18グループに分かれて「昔のくらしの様子」「戦争中の生活」について話を聞く。

○10月21日《チャレンジの会》

9時30分～10時50分

「生活体験」手洗い洗濯・米つき・

なわない・火おこし

「学校」小刀・昔の教科書音読・唱歌

「遊び」お手玉・はねつき・こままわし・めんこ



【3】人権総合的学習②—6年「再発見、ふるさと津島 そして自分」—

- 第1次 『ふるさと津島』のプレゼンをきく。 (2時間)
- 第2次 各自課題に従って『ふるさと津島』を調べ、リーフレットやパンフレットにまとめる。 (8時間)
- 第3次 観光ボランティアと『ふるさと津島』を歩く。 (2時間)

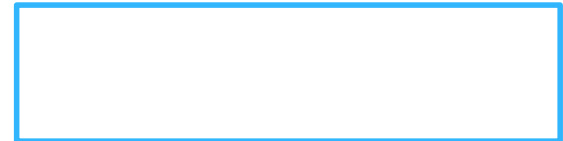
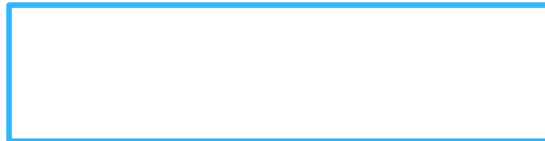
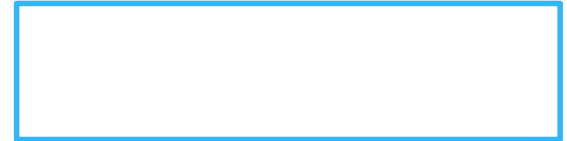
- 1 津島の「市の鳥・花・キャラクター」について
- 2 津島の名物・特産物・言葉について
- 3 津島牛頭天王社と尾張津島天王祭について
- 4 織田信長と津島について
- 5 尾張津島秋祭りについて
- 6 津島人物伝
- 7 津島南小学校の歴史について



次の津島名物は？



()はうるち
米であげた団子です。
江戸時代につくられ
ました。



尾張津島秋祭りには（ ）や
（ ）で盛り上がります。

今市場の山車
（ 社）
石採車
中野町
（ 社）
（ ）踊り



尾張津島秋祭りの歴史
も古く、津島には山車と
（ ）がいっぱいあ
ります。



6年生の子どもたちが制作したパンフレット



6月18日「再発見、ふるさと津島」の授業から

子どもたちが制作したパンフレット



子どもたちがまとめたパンフの内容

- 津島のゆるキャラの特徴
- 津島のおいしい名物
- ふるさとグルメ
- 将軍も気に入る天王祭り
- 津島川祭り
- 津島のお祭り
- 上街道
- 津島の自然
- 津島の人物
- 尾張津島牛頭天王社
- 津島の災害
- 津島の人物
- 堀田家の歴史
- 織田信長と天王川について
- 伊勢湾台風について etc.

【3】人権総合的学習③ー6年「津島の達人 ジュニア歴史検定」ー

○ 平成20年度

信長の台所歴史検定津島の達人公式テキスト『尾張津島見聞録』を執筆、この年より津島の達人歴史検定スタート



○ 平成22年度

『尾張津島見聞録 ジュニア版』を執筆、この年より「ジュニア歴史検定」スタート



○ 平成24年度

『津島の達人 公式ドリル集』を作成



☆ テキスト・ドリル集作成の配慮事項

- ① 「津島市」のイメージキャラクターをイラスト等に効果的に活用する。
- ② 大切な語句はゴシック。用語・地名等の解説コーナー設定
- ③ 各章の後半にクイズ・コーナーを設ける
- ④ 索引(インデックス)を設け、辞書機能を。
- ⑤ 歴史こぼれ話など簡単なエピソードを。



【津島の達人 ジュニア歴史検定の約束】

- ① 津島市教育委員会主催事業（今年で5年目）
- ② 1月中・下旬の2週間で、各学校が実施する。
- ③ 市内8小学校6年生全員を対象とする。
- ④ 当日テキストの持ち込みを認める。事前に社会科の授業等で、テキスト最終章の「模擬試験」を学習する。また冬休みにテキストを6年生に貸し出しをする。
- ④ 採点は『尾張津島見聞録ジュニア版』執筆・編集委員会で行う。
- ⑤ 希望する学校には検定のための『出前授業』を行う。

【4】地域・家庭との相互連携のために

ふれあい運動会

○組織

運営委員(会)・・・嘱託・体育委員・PTA

南小校区コミュニティー推進協議会

南小校区体育祭運営委員会

南小PTA

南小学校

○運営委員会の日程

7月5日 役員承認・運営・種目・
出場者募集

8月22日 係分担・賞品・プログ
ラム・出場券・延期連絡方法



当日はつし丸君来校

ふれあい運動会の種目

- ※ 三世代・ふれあい競技
(地域の方＋保護者＋子ども)
- ※ 家族競技 (保護者＋子ども)
- ※ 児童競技

テーマ ふれあいとあいさつで地域のつながりを

ふれあい運動会についての教師の意見

- ふれあい競技の参加券は当日ほしいという人が多数みえた。今後は参加券を招集場所と本部におくとよい。
- 三世代競技とふれあい競技の参加券の配布が、地域を通して行われたが、知らない方も多数みえた。
- はじめて二色(紅白対抗)となったが、比較的スムーズに行うことができた。
- プログラムに時間がのっており、進行の進み具合が大変わかりやすかった。
- 応援合戦を種目に入れると盛り上がるのでないか。



市人研の取組 総合における人権教材 I

教材名

人権教育の視点

尾張津島秋祭
(年生 総合)
8時間完了



江戸時代から近代にかけ、津島は門前町・湊町・毛織物工業都市として栄えた。その町衆の祭りである尾張津島秋祭り(山車・石採車・くつわ踊り)について調べ、祭りの様子や祭りを支えている人たち(祭り保存会)に思いを寄せる。特に桑名市から移された石採車について、祭りをどのような思いで始め、発展させたかについて聞き取りを行う。

- 尾張津島秋祭りについてプレゼンを見る。
- 「山車」「石採車」「くつわ踊」「伊六万才」について、課題をもって調べる。
- 『津島観光交流センター』で分からないことについてきく。
- 『石採車保存会』『くつわ踊』の方に学校に来ていただき、祭りの体験を行う。
- 学習してきたことをまとめる。